

倍

三年

回数 10
筆順
オン
フン

イイイ位倍

成り立ち



「意見（口）が対立する」といういみから、「意見が分かれる」といういみを表した音（部年412）」と、「イ」とを組み合わせて作った字です。

「二つだったものが、意見が対立して二つになる」といういみの字で、「二つのものが二つになる」というふえ方を表すようになりました。例増 倍加。

「倍は、人の意見が対立する意味から、「倍反」（そむく意）という用法が古い。「倍数」などの数学用語は最も新しいものであるが、今はその用法がほとんどである。」

使い方

▽四は二の倍数です。九は三の倍数です。このようにある数で割り切れる数を、その数の倍数といいます。
▽今年になって、おこづかいが増えました。二年前は今のおこづかいの半分でしたから、二年がかりで、ぼくのおこづかいは倍増したことになります。

熟語例

▽倍増（二倍に増えること。また、ちょうど二倍でなくとも、ぐんと増えることを、ばくぜんと「倍増」ということがあります。）
▽倍加（二倍に増えること。また、「倍増」と同じで、単に増えることを「倍加」ということがあります。「もと」と美しい公園に桜が咲いたものだから、その魅力が倍加した」などというふうには、つかいません。）
▽倍率（ある数が、ほかの数の何倍にあたるかを表した率。「この顕微鏡の倍率はちょうど千倍だ」などというふうには、つかいません。）

使い方

▽わたしはおたんじょう日に宝石箱を買っていただきました。
▽にわの木に巣箱を作っかけてました。小鳥が来てくれればよいとおもいます。

熟語例

▽宝石箱（宝石を入れておく箱。ふたをあけると、オルゴールの鳴り出すものが多い。）
▽巣箱（小鳥のために巣として作った箱。また、みつばちのための巣箱もあります。）
▽本箱（本をしまっておくための箱。「本だな」ともいいます。）
▽重箱（りょうりをいれるための、なん重にもかさねた箱。おせちりょうりを入れるときなどにつかわれます。）
▽箱船（箱のような形をした船。方形の船。「方舟」とも書きます。例ノアの箱船）

箱

三年

回数 15
筆順
オン
フン

はこ 箱箱箱

成り立ち



「相合（二つで一組のいみ）」の「相」と、竹のいみの「竹」とを組み合わせて作った字です。

「竹ひご（竹をほそくわってけずったもの）をあんで作った二つ一組の「はこ」のこを表した字です。今では、「木」で作ったものでも、「紙」で作ったものでも「箱」といいます。